

令和2年度第4回地域福祉専門分科会 における主な意見

内容	主なご意見
表現等（軽微な修正は省略）	<ul style="list-style-type: none">● 概ねまとまっているが、市民目線で、一文を短く、よりわかりやすい文章や表現になるよう工夫する必要がある。● 概要版や用語集により、市民の方が読みやすくなるよう工夫が必要。
5章に関して	<ul style="list-style-type: none">● （22ページ）第5章の導入部分の記載について、地域で支援を必要とする人はほかにもいるのに、なぜこの3つ（生活困窮と成年後見と再犯防止）の取り組みが出てきたかの根拠がわかりづらい。また図の上には「施策の対象となる範囲のイメージ」と書いてあるが、図の中には「包括的支援体制」と書いてあり違和感がある。そして図の中に「土台となる地域力の強化」とあるが、3つの施策と地域住民の関わり方が見えづらい。（31ページ）の重点事業との関連もわかりにくい。● 第5章（生活困窮、成年後見、再犯防止）の部分の記載内容が難しい。市民にも見てもらうために、もっとわかりやすくする工夫が必要。● 再犯防止部分の導入に社会的孤立の記載があるが、社会的孤立は刑務所出所者に限ったものではなく、ホームレスや生活困窮者にも幅広くあてはまるため、社会的孤立は別に章立てて定義した上で、様々な要因により社会的孤立を抱える人々を支援するとしたほうがよいのでは。● ホームレスの定義の確認が必要。● 再犯防止の観点から具体的に支援を必要とする内容が伝わるように、表現上もう少し工夫や配慮をしてほしい。再犯防止の具体的な取り組みのイメージを記載してほしい。

内容	主なご意見
5章以外の部分について	<ul style="list-style-type: none">● 地域住民が安心して地域活動に取り組むため、補償の問題についても記載が必要ではないか。● 課題解決に向けた専門職と地域住民との関係性（専門職任せの印象にならないように）、最終的な責任は自治体が負うことを示す必要があるのではないか。● 今後を見据え、SNSについての記述が必要ではないか。● 国で検討している重層的支援体制整備事業に盛り込まれた内容と、本計画における内容の方向性が一致していると示す必要があるのではないか。● 自殺→「自死」という言葉が最近使われていると思う〔別途いただいたご意見〕● 新型コロナウイルス感染対策（対応）についてはもう少し全体的な計画の中に入れた方がよい〔別途いただいたご意見〕● 本計画の評価基準を明確にすることが必要。● プランの評価指標とまでいかななくても、地域ごとに自己点検ができるようなチェックシートを用意し、支援者間で地域の情報を把握できるような仕組みがあるとよいのではないか〔別途いただいたご意見〕